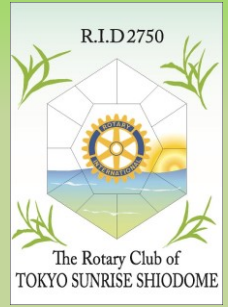


◆ WEEKLY REPORT ◆



R.I.D.2750 Chiyoda & Pacific
Basin Group
The Rotary Club of
TOKYO SUNRISE SHIODOME



R.I 会長 ジェニファー・ジョーンズ

2022-23 年度 会長 鹿島孝夫
クラブテーマ「Stand By You」

No.308 13 Oct. 2022 発行

第311回 通常例会

【日時】2022年10月6日(木) 12:30~13:30
【例会会場】ザ ロイヤルパークホテル アイコニック 東京汐留
【例会出席】会員数 19名 名誉会員 6名 出席者 11名 ビジター 4名 ゲスト 0名
【出席率】57.9%
【ニコニコBOX】¥16,000—

《プログラム》

- ◇ 開会点鐘
- ◇ 斉唱：「国家」「それでこそロータリー」
- ◇ 会長挨拶
司 会：熊谷行裕会員
鹿島孝夫会長
鹿島孝夫会長
私の身の回りであまり良い話ではないのですが、病気になったり亡くなったりしている方がいらっしゃいます。コロナ禍ですが自分の体に向きあって、大切にしてもらいたと思います。体があって福祉活動が出来ます。宜しくお願いします。
- ◇ 幹事報告
梅澤武男幹事
12月22日の合同クリスマス例会の出欠をお願い致します。港区民祭りの案内が来ています。入会の案内パンフレットが出来上がりました。皆さん活用ください。
- ◇ 委員会報告
- ◇ 表彰式【会員増強賞】鹿島孝夫会長 梅澤武男幹事
- ◇ 出席報告
- ◇ ビジター・ゲスト紹介
愛場義衛様：私はすごく運動が好きで、免疫力を高めるために運動を習慣にしてもらいたと思います。ジョギングをしております。皆さん運動に励んで頂ければと思います。
望月克宏様：初めてのメーキャップという事ですごく楽しみにして参りました。何事も興味を持ってやらなければ成長しないと思っておりますが、ゴルフは中々成長しません。
福川剛史様：私はパソコン周りの仕事しております。最近美術館をプロデュースする仕事をしまして、何に関しても感性を育てなければならぬのだと思いました。

◆ 会長：鹿島孝夫 ◆ 幹事：梅澤武男 ◆ 副会長：愛知とし子【発行責任者】

【創立】2014年10月15日【例会日】毎週木曜日 12:30~13:30【例会場】ザ ロイヤルパークホテルアイコニック東京汐留
〒160-0022 東京都新宿区新宿 6-18-3 (南エルーデ内) / TEL:03-6380-5798 / FAX:03-6273-1196

【URL】<https://suns-rc.org/> 【E-mail】office@suns-rc.org

◇ にこにこ BOX

立堀佳男会員

鹿島孝夫：夏井様本日の卓話よろしくお願ひします。

梅澤武男：本日は夏井様、卓話よろしくお願ひ致します。東京バリアフリーマインド RC 愛場様、望月様、福川様、ようこそおいで頂きました。

熊谷行裕：夏井様本日の卓話楽しみにしています。東京バリアフリーマインド RC の皆様ようこそお越し下さいました。楽しんでいって下さい。

立堀佳男：東京バリアフリーマインド RC のみなさんようこそいらっしゃいました。本日は月一回のカレーの日です。おいしいですよ～。ニコニコです。

山本直道：東京バリアフリーマインド RC の皆様本日はようこそお越し下さいました。今後とも当クラブとも仲良くしてください！

夏井淳一様(東京バリアフリーマインド RC)：本日は卓話の機会を頂き有難うございます！当クラブにも是非お越し下さい！

望月克宏様(東京バリアフリーマインド RC)：初めてのメーキャップです。これを機会に宜しくお願ひ致します。

愛場義衛様(東京バリアフリーマインド RC)：初めてのメーキャップになります。今後ともよろしくお願ひ致します。

◇ 卓話『“たらいまわし”のない社会を目指して！』

東京バリアフリーマインド RC 夏井淳一様

コロナ禍で問題になりました救急車のたらい回しについて本日は皆さんと一緒に考えていきたいと思ひます。会社の方は小さな会社ですが、デジタルヘルスという領域です。私は元々医療機器のエンジニアでした。イスラエルに行きまして最新技術に触れました。そこから新しいシステムを作ったり、JAXA で仕事をしていた時は宇宙ステーションに医療機器を打ち上げて宇宙飛行士のデータを取ったことも有りました。開発途上国の医療支援をやりたいたいという夢が有りましてロータリークラブと出会い、もっと自分がやりたい事に近づくのではと思ひ活動を始めました。さてコロナ禍で一番大変だったのは救急車で病院に行けない人が沢山いた事は大きな問題ではなかったかでしょうか。そして高齢者が在宅医療になっていてこの方たちが救急車を使うことにより重傷者の救急搬送に支障が出ました。救急救命士が PTSD で苦しんでいる現状が有ります。目の前の患者さんが病院が決まらずに目の前で死んでいってしまう事に対して精神的に病んでしまう人が沢山いらっしゃいます。救急車の適正利用も叫ばれています。日本は無料で救急車を呼べるので、搬送したけれど救急医療は必要なかった人が半数以上います。救急車の数は有限です。ここにトリアージという問題が入ってきます。継承者を運ぶことにより重傷者が後回しになってしまう事が有ります。大学病院は初診で掛かれないシステムに移行しているのは大学病院に集中するのを避けるため、かかりつけ医を持つように推奨しています。病院も救急搬送を断りたくて断っているわけではありません。現在訴える患者さんが訴えるケースが多く病院も防御します。私はチームを作ってこの問題に取り組みました。足を使いデータを集めました。データは存在しますがそれらはバラバラで統合的に見る人がいません。電子化するという事と情報化するという事は違います。救急医療も情報化し使えるようにしなければ意味が有りません。正しい医者に診てもらうまでを最短にするという事が大切なのです。現在国家戦略特区で法律を変えようとしています。救急救命士に救急車の中で出来る事を増やしたり安心安全な街づくりを目指しています。



梅澤幹事 鹿島会長



愛場義衛様



望月克宏様



福川剛史様



大日方真会員

◇ 講評

鹿島孝夫会長

夏井様有難うございました。お聞きしてもっともだなと思ひました。夏井さんの描く世界が日本全国でこういう形で成功してほしいと思ひます。

◇ 開会点鐘

鹿島孝夫会長

《今後の主な行事予定》

◇ 12月22日 クリスマス例会

《今後の例会スケジュール》

◇ 10月13日 12:30~13:30
 ◇ 10月20日 12:30~13:30
 ◇ 10月27日 休会